

長野市下水道 10 年ビジョン【改訂版】(案) に係る市民意見の募集結果について

1 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

平成 29 年 2 月 1 日（水）から平成 29 年 2 月 28 日（火）まで

(2) 募集方法

書面（持参、郵送、ファクシミリ）、電子申請及び電子メール

(3) 公表方法

① 記者会見 平成 29 年 1 月 24 日（火）

② 広報ながの 平成 29 年 2 月号

③ 市及び上下水道局ホームページ

(4) 閲覧場所

上下水道局下水道整備課、下水道施設課、建設部河川課、行政資料コーナー、27 支所

2 募集の結果

(1) 意見提出者 15 名（持参 9 名、ファクシミリ 1 名、電子申請 5 名）

(2) 意見等件数

計 画 名	件数
長野市下水道 10 年ビジョン【改訂版】(案)	18

(3) 案に対する意見等の対応

対応区分	対応方針	件数
1	計画案を修正・追加する	0
2	計画案に盛り込まれており、修正しない	14
3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする	4
4	検討の結果、計画案に反映しない	0
5	その他（質問への回答や現状説明）	0
	合 計	18

3 主な意見と局の考え方

No.	基本 施策	主要 施策	意見要旨	考え方	対応 内容
1	下水道の 持続	施設の適 正な管理	計画的な維持管理を実施することにより、損傷の早期発見による道路陥没事故等の防止や管の閉塞や流下阻害物の発見による下水の溢水や悪臭発生の防止が期待できます。 また、飲食街等でのつまりの発生例が多い発生対応型から予防保全型への対応により、より安全な利用者への市民生活の提供が出来るものと予想します。	管路施設については、概ね7年に1度の頻度で巡視点検を行い、また、硫化水素の発生しやすいマンホールなど、腐食の恐れのある箇所は5年に1度の点検を計画しています。 定期的な点検・調査により道路陥没事故の未然防止や管路の閉塞・流下阻害物の解消などに努めるとともに、計画的な耐震化や老朽化施設の改築更新も進めていきます。	2 盛り込まれており修正しない
2	下水道の 持続	施設の適 正な管理	管路の巡視点検と調査を目標値に向かい年間を通して作業ができれば、専門技師の育成及び雇用の安定に寄与し又緊急対応対策が計れる様になると思います。 前項の事前調査により、指摘箇所への清掃ならびにTVカメラ調査を行う事で道路陥没事故等の未然防止対策が取りやすく又、油脂等による閉塞による下水道のつまり等が未然に防げる対応が取れるかと思えます。		
3	下水道の 持続	施設の適 正な管理 計画的な 改築更新	新たな将来像「良好な暮らしと環境を持続させる長野市の下水道」のとおり、市民にとって下水道はなくてはならない施設であるため、今後も計画的な改築更新や維持管理を進めていきたい。		

No.	基本 施策	主要 施策	意見要旨	考え方	対応 内容
4	下水道の 持続	施設の適 正な管理	管路調査のためのテレビカメラや、管路の更新を行う更生工法など最新技術が用いられているが、今後も随時最新技術を取り入れて維持管理や改築更新を行い、経費の縮減を図るべきである。	テレビカメラや更生工法については随時新しい技術が開発されています。今後も技術開発に注視しながら、費用対効果などを考慮し最新技術の導入について検討していきます。	3 修正しないが今後の参考とする
5	下水道の 持続	計画的な 改築更新	我が家もこの地に住居を構え、50年ほど経過します。道路に埋設されている下水道の管もだいぶ古くなっていると思います。 6章では、下水道の維持管理施設の更新について計画的に実施されている事がわかり安心しました。 老朽化した施設の更新は、陥没事故などが危惧されているため、積極的な取り組みをお願いします。	調査の結果、現在長野市内に埋設されている下水道管路は、比較的健全な状態を保っていますが、今後30年間で老朽管路は全体の約45%まで増加します。 将来的な老朽管路の増加に適切に対応するため、定期的な施設の点検調査により異常箇所早期発見に努めるとともに、施設の重要度などから優先順位を定めながら、計画的に改築更新を推進します。 また、管路の改築更新を行うことにより同時に不明水対策を行います。	2 盛り込まれており修正しない
6	下水道の 持続	計画的な 改築更新	不明水対策事業については、浸入水を減少させ、処理場への負担を軽減するとともに汚泥処理コストの縮減を目標にして、特に多いとされたエリアにおいて重点的に対策事業をおこなったとのことですが、一部の地域だけの問題なのでしょうか。他の地域の対策についても検討すべきではありませんか。	不明水対策事業については、浸入水を減少させ、処理場への負担を軽減するとともに汚泥処理コストの縮減を目標にして、特に多いとされたエリアにおいて重点的に対策事業をおこなったとのことですが、一部の地域だけの問題なのでしょうか。他の地域の対策についても検討すべきではありませんか。	

No.	基本 施策	主要 施策	意見要旨	考え方	対応 内容
7	下水道の 持続	下水道の 普及・啓 発	現在未普及の地域は、都市 周辺の家屋が点在している郊 外地域であり、今までの整備区 域に比べ整備効率の低下が予 想されることから、現地の状況 を適切に判断し、より弾力的に 整備手法を選択することが必要 とありますが、早期の全戸水 洗化を目指し、事業の推進を 希望します。	現地の状況や住民意向を的 確に把握しながら、適切な整備 手法を選択し効率的な整備を 行うことにより、早期の全戸水 洗化を目標に事業を推進しま す。	2 盛り込ま れており 修正しな い
8	下水道の 持続	下水道の 普及・啓 発	最近長野に越してきました。 市役所の行政資料コーナーで 下水道 10 年ビジョンを読みまし た。下水道の使用料金が色々 なことに使われていることを知 りました。 道路の事故や浸水の被害の 防止、エネルギーの効率化な どもっとPRしても良いのでは？ と感じました。	本市では、下水道施設の整 備以外にも、浸水被害防止対 策や施設維持管理及び省エネ ルギー化の検討など複数の事 業を実施しています。個々の事 業については、局ホームページ や広報紙などで紹介していま すが、よりお客さまに理解して いただけるよう努力します。	2 盛り込ま れており 修正しな い
9	下水道の 持続	下水道の 普及・啓 発	小学校での出前教室は、子 供たちが下水道を理解するの に有意義であるため、継続して 実施してほしい。（時代にあっ たバージョンアップも必要であ る）	出前教室については、年 10 回を目標に毎年継続して実施 していく予定です。 また、内容について学校関 係者と協議し精査していきな ど、より下水道事業への理解と 関心を深めていただけるよう、 様々な方法について検討して いきます。	3 修正しな いが今 後の参 考とする
10	強靱な 下水道	施設の 耐震化	近年頻発する地震などの自 然災害時においても、下水道 機能が損なわれないように、計 画に沿った耐震化の実施を強 く要望します。	施設の改築更新計画に併せ て、計画的に耐震化を進めま す。	2 盛り込ま れており 修正しな い

No.	基本 施策	主要 施策	意見要旨	考え方	対応 内容
11	強靱な 下水道	防災・減 災対策	近年地震が頻発している。長野市においてもいつ起こっても不思議ではない。施設の耐震化を進めることに賛成である。 また学校等の広域避難広場にマンホール簡易トイレが設置できる下水道配管を計画的に進めてほしい。	避難施設におけるマンホールトイレについては、長野市地域防災計画との整合を図りながら進めます。	3 修正しないが今後の参考とする
12	健全な 経営	経営 健全化	下水道にかかわらず近年地下に埋設された公共インフラの管理不足による道路陥没事故等の発生を耳にします。 企業ですから財政状況等についても厳しい時期であることは、承知しています。早急に既存施設を調査し総合的な対策を行う事により安定した経営を行うべきと思います。 経営が安定しなければ市民の要望にも社会状況の変化にも対応できないと考えます。	上下水道局では、将来的な施設の耐震化・長寿命化を総合的に検討し、効率的で安定した事業運営を目指しており、ビジョンの改訂に併せ「下水道事業経営戦略」を策定し、長期的な視野に立った経営の管理を行います。	2 盛り込まれており修正しない
13	健全な 経営	経営 健全化	第4章の老朽管解消事業の10年後の予測される長さは現在の約2倍になっています。 また、7章では平成34年以降財源がマイナスとなっています。 ビジョンの中では今後の財政状況を見ながら改築計画を作成するとしていますますが早く作成し、経営状況と作成状況を是非公表してください。	本ビジョンでは、平成29年度より下水道施設について総合的に改築需要などを検証する改築更新計画を策定し、新たな投資・財政計画を作成します。 投資・財政計画については、本ビジョンと同時に策定する「下水道事業経営戦略」の中で詳細を検証します。また、内容についてはホームページや広報紙などで提供します。	2 盛り込まれており修正しない

No.	基本 施策	主要 施策	意見要旨	考え方	対応 内容
14	健全な 経営	経営 健全化	継続維持にあたり、民間活 力の活用が有効かと思いま す。前項の育成と雇用、緊急対 応対策の統括作業そしてコスト ダウンを考えますと、トータルコ ストによる指定管理者制度をご 提案します。	これまでも指定管理者制度 を含めた民間活力の導入につ いて検討をしてきました。今後 も包括的民間委託の継続及び 新たな民間活力導入の可能性 についての検討を進め、更なる コスト削減に努めていきます。 また、職員一人ひとりの技術 力・経営能力の向上及び継承 に努め、将来的に職員数が減 少しても安定した下水道事業 運営に努めます。	2 盛り込ま れており 修正しな い
15	健全な 経営	経営 健全化	今後、下水道の維持管理を 行っていくには、多額の費用が かかってくると思われる。 少しでもコストを削減するた めに、民間委託や自然エネル ギーの活用など、できるところ から積極的に検討し取り組ん でほしい。		
16	健全な 経営	経営 健全化	市内一円に広がる下水道施 設の維持管理には、経費削減 等の観点から民間企業の力が 必要であると思います。 また市職員の技術継承や技 術力の向上、経費縮減につな がる新技術の積極的な取り組 み・検討も必要であると考えま す。		
17	健全な 経営	経営 健全化	太陽光発電や小水力発電の 導入は見送っているが、場内 の外灯など小規模な太陽光発 電等の省エネルギーを検討し てみてはどうか。	ご意見を参考にさせていただ き、太陽光発電などのエネル ギー活用施設の導入について は、様々な方法・規模などから 検討を進めます。	3 修正しな いが今 後の参 考とする

No.	基本 施策	主要 施策	意見要旨	考え方	対応 内容
18	健全な 経営	事業の 効率化	これほど膨大な下水道施設があったことに驚くとともに、維持管理にはそれなりの人と金が必要と思う。その辺りの事もしっかりと検討すべきと考えます。	将来的な汚水量などの減少を見据えて、施設の統廃合や規模の縮小などについて引き続き検討を進め、効率的な事業運営に努めていきます。	2 盛り込まれており修正しない